stera transit唐津市MaaS推進事業｜昭和自動車株式会社

2026/2/9

目的　：公共交通の利便性向上とデータの活用

- デジタル技術の導入をアプローチとし、MaaS基盤やキャッシュレス決済等を活用した交通サービスの高度化に取り組んだ。その結果、交通サービスの利便性向上を実現。
- 自治体職員においては、データ取得により、データに基づく施策検討や業務プロセスの簡素化を進め、業務効率化が期待できる。

事業内容：2つのソリューション活用とデータ分析

【①交通サービスの高度化】

- クレジットカード等のタッチ決済での乗車を可能にする、stera transitを導入した。
- 交通機関の1日乗車券や企画乗車券の購入・利用ができる、Pass Caseを導入し、昭和自動車×佐賀玄海漁業での企画乗車券を販売した。

【②データの取得と活用】

- 乗降データに紐づく国内/外の利用属性や、降車後の消費行動等の分析を実施した。

【③政策連携】

- データを基に、市の地域公共交通計画検討に活用した。

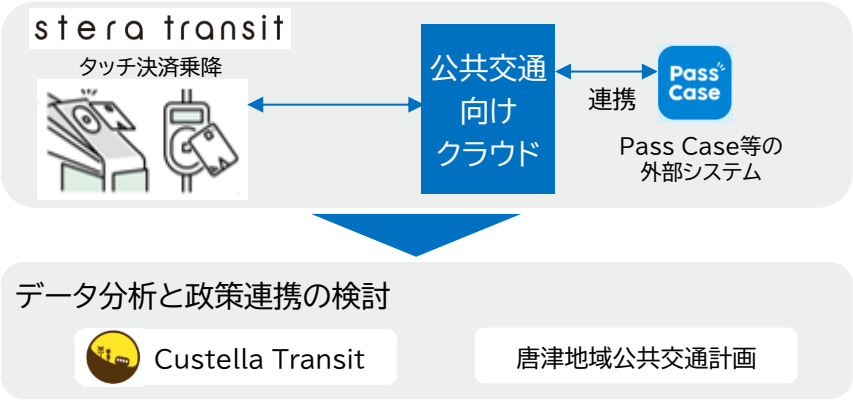
効果

- 課題：唐津市では自家用車依存が進み、高齢者の免許返納により交通不便が生じていた。また、公共交通利用者数の減少に伴い、自治体の財政負担が増大。観光面においては、二次交通や観光地へのアクセス情報の不足により、観光客の周遊性向上が課題となっていた。
- 効果：本事業により、移動データ・消費データの取得が可能となり、時刻表再編やサービス改善につながる検討基盤を構築できた。また、交通決済手段の拡充により、公共交通の利便性が向上し、企画乗車券の活用を通じて周遊行動の増加が期待できる。さらに観光施設や商業施設との連携による交通や支払いのシームレス化により、地域の消費促進に寄与した。

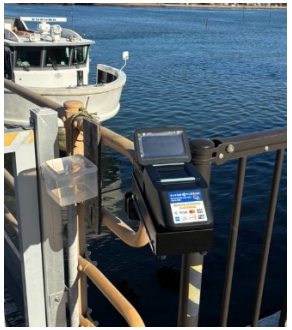
【実施エリア】



【本事業の取組の全体像】



【車載器画面】



【企画券】



Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

stera transit唐津市MaaS推進事業｜昭和自動車株式会社

プロジェクトの効果

課題に対する効果

#	課題	効果
1	高齢化の進行に伴い、自家用車の依存度向上。	stera transit導入による利便性向上により、高齢者の公共交通の利用促進に貢献。
2	観光客向けの情報提供の強化	Pass Case導入に伴い、企画券の多言語対応を実現。
3	インバウンド旅行客の案内	stera transit導入による案内の簡素化を実現(昭和自動車職員インタビューより)

KPI

【凡例】 赤字:目標達成　青字:目標未達成

#	測定項目	KPI	計測方法	計測頻度・回数	事業実施年度の目標値	最終結果	達成/未達成の原因
1	MaaSアプリでのチケット購入者数	MaaSアプリ販売数	Pass Caseデータにて確認	稼動1か月経過後	50件/1か月	5枚	企画券名も工夫し、目的やターゲットを明確にした企画券であったが、プロモーション検討のタイミングで、適切なメディアプランニングが出来ていなかったことが要因
2	昭和自動車のstera transit利用者数	タッチ決済乗車人数	QUADRACのODデータにて確認	稼動1か月経過後	13,000件/1か月	691件	近年のインバウンド増を前提に前年度比の利用増を見込み、既存の空港バスの高い認知度を基にKPIを設定したが、地域全体の利用者増が想定を下回り、昭和自動車路線ではタッチ乗降の認知が十分に浸透せず、目標未達となった。
3	佐賀玄海漁業協同組合の利用者数	タッチ決済乗車人数	QUADRACのODデータにて確認	稼動1か月経過後	280件/1か月	245件	認知が十分に浸透しなかったため。

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.